

# 社会人基礎力協議会News



第5号 2020年11月12日発行

## 1 人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ エントリー受付開始！

グランプリ委員会

いよいよ、2020年度の「人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ」へのエントリーを開始しました。コロナ禍の中、教育の現場でも様々な制約によるご苦労が多いかと思いますが、「社会人基礎力」の育成はどんな社会状況でも必要であり成長も続くと考えます。いつもと違う社会状況であればこそ「社会人基礎力」の育成・成長を多くの視点で評価し、表彰します。全国の多くの大学からのエントリーをお待ちしています。

### 大会趣旨

経済産業省がとりまとめ定義した「人生100年時代の社会人基礎力」に賛同し、大学での学びにおいて、社会人基礎力の教育の普及と、その効果的な教育方法の研究の推進を目的に、「人生100年時代の社会人基礎力」の育成に資する各大学の取り組みと、その取り組みで成長をとげた学生らの多様な実例を集わせ、これらを審査、表彰し、その実例の周知を図ります。

### 申し込み方法と全国決勝大会までの流れ

出場エントリーはWEB申請です。

事務局にてエントリー内容の審査を行い、地区予選大会参加が確定したチームにはメールにてご連絡し、地区実行委員長から地区予選大会のご案内をいたします。各地区予選大会から代表1チーム（または2チーム）が2021年3月17日に開催される全国決勝大会に進出します。



グランプリ情報  
詳細はこちら

### 応募スケジュール

| 日程             | 内容            | 備考             |
|----------------|---------------|----------------|
| 2020年11月1日（日）  | エントリー（応募）受付開始 | Webフォーム受付      |
| 2020年12月31日（木） | エントリー（応募）受付終了 |                |
| 2021年1月中旬      | 参加決定チームへの通知   |                |
| 2021年1月31日（日）  | 発表データ提出期限     | PowerPointファイル |

### 各地区予選大会・全国決勝大会スケジュール（2020年11月10日時点）

| 日程            | 内容              | 備考            |
|---------------|-----------------|---------------|
| 2021年2月16日（火） | 北海道・東北・関東地区予選大会 | 拓殖大学 文京キャンパス  |
| 2021年2月 調整中※  | 中部地区予選大会        | 調整中※          |
| 2021年2月 調整中※  | 近畿地区予選大会        | 摂南大学 寝屋川キャンパス |
| 2021年2月13日（土） | 中国・四国地区予選大会     | 松山大学 樋又キャンパス  |
| 2021年2月13日（土） | 九州・沖縄地区予選大会     | 調整中※          |
| 2021年3月17日（水） | 全国決勝大会          | 拓殖大学 文京キャンパス  |

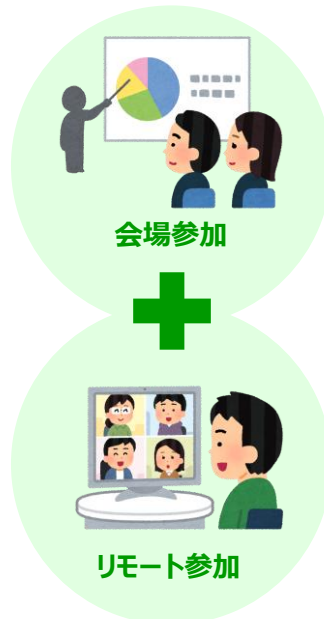
※ 調整中の部分は、決定次第、社会人基礎力協議会HPにてご案内いたします。

### 大会は会場参加とリモート参加のハイブリッドで開催します

今年は新型コロナウイルスの集団感染を防ぐ観点から会場への参加者を減らし、会場参加とリモート参加のハイブリッドで開催します。発表者と審査員は基本的に会場に来場いただきますが、本人の希望によりリモート参加も可能とします。リモート参加にはZoomを使用します。なお参加チームの発表者以外の関係者および、一般の観覧者については、会場への来場はご遠慮いただき、youtubeのライブ配信から観覧できるようにする計画です。観覧方法は事前申し込みをいただいた方に通知します。

### コロナ禍であればこそ「社会人基礎力」の育成・成長を多様な視点から評価

「コロナ禍のためいつもの活動ができない！」「いつもの方法で教育できない！」など、取り組んだ活動の成果が思ったようでなかったとしても、それは「社会人基礎力」の成長そのものではありません。本大会は、社会人基礎力育成の観点から授業等での取り組みによる成長を重視しています。活動・運営の最終的な実施ができなくても調査・検討・計画はできたかもしれません。対面で集まれなくてもオンラインなど工夫して活動できたかもしれません。取り組む題材は学外的なプロジェクトに限りません。いつもと違う社会状況であればこそ「社会人基礎力」の育成・成長を多くの視点で評価し表彰したいと考えています。教員の関わり、学生的前提条件、活動条件など様々な活動形態を考慮し、「社会人基礎力」の育成を評価していきます。（委員長 市川純章）



**コロナ禍のオンライン化が、企業と個人の「意識改革」を後押し**

2020年は「企業と個人の関連性」に大きな変化をもたらしました。リカレント委員会主催で6月から開催してきた3回の委員会&勉強会では「大学・企業でのオンライン化のメリット・デメリット」と「そこから見てきた「社会人基礎力の意義とリカレント教育の在り方」について、参加の皆様と事例研究・意見交換を重ねてきました。

勉強会では、リモートは「仕事の進め方と多様な働き方」を考える機会となり、企業と個人の双方に「意識の改革」が求められることになりました。この意識改革は「掛け声」だけでは済まされず、「実践的な行動と結果」がないと生き残れなくなったと思います。オンライン化は対面方式との併用の道を選択し、オフィス改革は「エンゲージメント(愛着心・思い入れ)」と共に個人の職業観と住居問題にまで展開してきたことを認識しました。

**「新・社会人基礎力とリカレント教育」(2018年経産省提唱)の再評価と出番が見えてきた！**

「人生100年時代」には更なる多岐多彩な環境の変化が負荷されてきました。「長寿社会・生涯現役」の声は、1990年代から言われてきた「VUCA (ブーカ) の時代」(V変動性・U不確実性・C複雑性・A曖昧性)が現実となり、コロナ禍による「ニューノーマル化」と共に、デジタル改革 (DX: デジタルトランスフォーメーション) の取組みが一気に動き始めました。これは、他律的な外部要因の様ではありますが、協議会が目指している「社会人基礎力の普及・啓発」と「リカレント教育の意義と効用」を妨げるものはないと考えました。企業と個人の意識改革は、「双方にある曖昧な甘えと依存性」と「自社人材育成に特化した地産地消型HRD (人的資源開発)」の従来型人材育成に起因すると思います。企業の生き残りは「人材の選抜・選別」がベースとなり、個人の生きがいは「公私に亘るキャリア選択」の実現にあります。これは女性活躍推進の課題となっている「ワークライフバランス」も「WIN-WIN」の実現というソフトな表現ではなく、「企業の求心力 (企業存続の利益追求) と個人の遠心力 (社内外の生きがい追跡)」が対峙する真剣勝負のテーマであることに通じます。「会社 (仕事) 人間」と言われて「自己肯定感・自己承認感」の希薄な個人が取り組む「生涯現役」の実現には、企業の積極的な個人のキャリア設計への関わりと支援体制が重要だと思います。この流れが、「社会人基礎力の学びとリカレント教育の充実」を促進していく原動力になると確信しています。

**なぜいま…「新・社会人基礎力の3つの視点と3つの能力」が求められるのか**

生涯現役として「どう活躍したいか (目的)」。そのために何を学ぶか (学び)。いかに学ぶか (組み合わせ) という3つの視点を実行していくかは、まず「目的」となる「何をやりたいのか」という目標設定がポイントになります。これは個人のキャリアデザインとして、企業の人材育成策とは別の個人の領域とされてきました。しかし終身雇用を約束出来なくなった企業は、「働きながら学び復職自由」とする「日本型リカレント教育」の開発・実現の機運が熟してきたと考えます。

(委員長 芝原脩次)

## 3 プロジェクトマネジメントを学びながら考える「社会人基礎力の重要性」

「社会人基礎力」は、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力 (12の能力要素) から構成されており、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」と提唱しています。本委員会はこれらを踏まえ、広い視野で研究活動を行い、関連する問題や対応や展望について議論する場を提供したいと考えています。今年度は、1.地域や企業や大学間などの関係をつなぐ多様性を意識した活動、2.実社会との連携を促進して、実社会で役立つ活動、3.主体的な行動を発揮させる活動、3点に着目した勉強会を進めています。

**第一回研究会「Zoomで集って学ぶ初めてのプロジェクトマネジメント」**

第一回研究会は7月に行い、「Zoomで集って学ぶ初めてのプロジェクトマネジメント」を実施し、「主体的な行動を発揮させる活動」に着目し議論を進めました。PMBOK分野の図書「童話でわかるプロジェクトマネジメント」にある「桃太郎」を読みながら、チームで働き、プロジェクトチームの目的を達成するための方法をPMBOKの理論を使いディスカッションを行いました。プロジェクトの成功は話し合いによる進捗管理が重要となるとの結論を出したチームが複数ありました。

**第二回研究会「実社会との連携を促進して、実社会で役立つ活動」**

第二回研究会は、11月25日に実施し、Zoomを利用したディスカッションで「実社会との連携を促進して、実社会で役立つ活動」に着目し、コロナの時代に即した社会人基礎力を考えました。第一回同様、「童話でわかるプロジェクトマネジメント」のなかから「うさぎとかめ」を読んで、「ゴール設定」のためのプロジェクトマネジメントチームで成果を出す技術についてディスカッションしました。プロジェクトの効果を高めるには、グループリーダー、ファシリテーター等のミドルマネージャーの役割が重要です。ファシリテーターは、企業等で行われている研修では一般化しつつあります。グループを構成するメンバーが主体的にかかわり、効果的な学習活動を行うには、グループ内の役割分担が重要な意味を持つこと等、多くの研究がなされています。しかし、2020年度は、新型コロナウイルスにより、企業においても、学校においても、生活においても、オンライン化した生活を余儀なくされています。これは新しい生活環境のスタートを切っているといえます。コロナの時代において、対面とオンラインの2つのつながりを身に着ける必要があります。

「プロジェクトマネジメントを学ぶことは、様々なシーンで起こる課題をチームで解決する方法を学ぶことと言えます。コロナの時代に、ひとりぼっちにならず、チームで助け合いながら課題に取り組み、課題を可視化し計画することで、トラブルを未然に防げます。

**第三回研究会は2021年1月20日です！ふるってご参加ください**

第三回研究会は、2021年1月20日 (水) を予定しています。研究会のテーマはメンバーと仲良くなる「信頼構築」のためのプロジェクトマネジメントです。社会人基礎力を研究したいとお考えの方であればどなたでもご参加できます。お申込方法はHPをご覧ください。(委員長 栗田るみ子)





日経HRはこのたび、一般社団法人 社会人基礎力協議会監修の「VUCA時代を生き抜く社会人基礎力診断」を開発、販売を始めました。弊社が協議会の協力を得て、10年前に開発した「社会人基礎力診断」の全面リニューアルに至った経緯、新診断の特徴、発売前のテスト受検で分かったことなどを説明します。

### 社会人基礎力診断リニューアルの背景

私たちが10年ぶりに「社会人基礎力診断」をリニューアルした理由は、2018年に「3つの視点」が追加されたことも一因ですが、AI・ロボットの普及や労働人口の減少、働き方改革によって求められる能力や働き方が変わり始めていることです。予測が難しいと言われるVUCA（不安定・不確実・複雑・曖昧）時代において、社会で活躍し続ける人材には、常に知識やスキルの更新・向上を心がけて変化に素早く対応したり、イノベーションを起こしたりすることが求められています。このような新たな能力・働き方については、社会人基礎力の3能力12能力要素に加え3つの視点を診断に加えることによって対応できると考えています。

社会人基礎力協議会が一般社団法人となり、従来の「グランプリ」の運営、普及と教育に関する「研究」、生涯学び続ける「リカレント」の3本柱に据えた活動を始めたことにもリニューアルのきっかけとなりました。弊社は新卒から転職までのあらゆる世代を対象にしたキャリア支援サービスを提供しております。協議会が掲げる理念に強く賛同し、今回のリニューアルに当たって監修という形で協力をお願いしました。

### 診断の特徴1：過去と将来を問う3部構成

設問は3部構成です。①「学び」「統合」「目的」に対して、考え方や行動を問う「3つの視点質問」、②過去の行動を問う「行動質問」、③将来働いてから想定される場面を設定し、その状況でどのような考え方にに基づき、どのように行動するかを問う「状況質問」で構成しています。①の「3つの視点質問」で「社会人基礎力発揮度」を、②の「行動質問」と③の「状況質問」で社会人基礎力の3能力12能力要素を測ります。

「社会人基礎力発揮度」を測る「3つの視点質問」は、VUCA時代にはイノベーションを起こせる人材が必要との観点から、従来の枠組みからはみ出したり、規制を突破したりするような人材を評価する設問も入れています。

社会人基礎力の「3能力12能力要素」は、過去の行動例と将来の行動予測で測ります。「行動質問」は誰でも経験しそうな場面での行動について尋ねています。

「状況質問」は、学生がこれから経験する仕事の場面での考えや行動について質問しています。

発売前のテスト受検では、「社会人発揮度」の高い群と低い群の12能力要素の平均点を比較したところ、乖離があったのは「創造力」（33.6ポイント差）、「課題発見力」（32.0ポイント差）、「働きかけ力」（31.2ポイント差）でした。

### 診断の特徴2：学生生活で力を入れた経験を聞いてアドバイス

上記の3つの設問に加えて、学生時代に積極的に取り組んだ経験を聞く「アンケート」もあります。今回の診断リニューアルに際して、就活を終えた内定者に診断とアンケートを実施し、その結果をもとに「社会人基礎力の高い人が取り組んだ活動ランキング」を作りました。

受検者本人の回答と同ランキングを比較しながら、低学年受検者には学生生活の過ごし方のアドバイス、就活前の受検者には採用選考でのアピールポイントや仕事選びのアドバイスをしています。

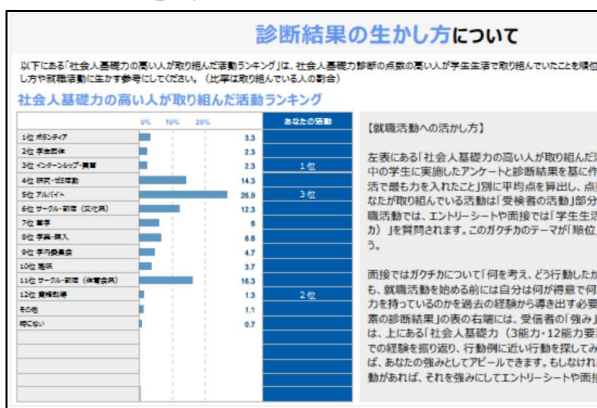
本診断は、受検者が点数の高低で一喜一憂して終わるのではなく、社会人基礎力の存在を知り、学生生活のさまざまな取り組みによって力が身につくことに気づいてもらうことにあります。

皆さまの人材育成のよき一助となれば幸いです。



### Profile

株式会社日経HR  
コンテンツ事業部 副部長  
就職サイトの副編集長を経て、大学のキャリア教育支援、社会人基礎力診断の開発を担当。就職・キャリア形成をテーマに、学生、大学を取材。学生と接しながら就活の悩み、実態などの情報を吸い上げコンテンツに反映している。  
趣味はガーデニングで、部屋の中もジャングル化している。



## 4 皆様の組織でも「社会人基礎力診断」いかがですか？

事務局

本号の特別寄稿でご紹介いただいたWEB診断「VUCA時代を生き抜く社会人基礎力診断」は、本協議会で監修を担当しました。  
この診断は学生の社会人基礎力を測ると同時に、2018年に新たに加えられた「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「どう活躍するか」という3つの視点への考え方や行動特性によって社会人基礎力の「発揮度」も測ることができます。3つの視点が増えたことによって、学生が持っている能力を活かせるかどうかわかります。  
第1弾としては、大学生、短大並びに専門学校生を対象にリリースし、今後は高校生、社会人向けと順次サービス拡大される予定とのことです。  
ご活用を検討される場合は、以下のwebサイトからご相談、お申込ください。

### 【詳細】日経キャリア教育 キャリエデュ

<https://career-edu.nikkeihr.co.jp/ad/diagnosis/>

診断名：VUCA時代を生き抜く社会人基礎力診断

開発・販売：日経HR

監修：社会人基礎力協議会

価格：1名あたり1,750円（税別、1人1回）

診断システム使用料50,000円

診断システム使用料特別キャンペーン中  
（2020年12月末まで無料）



## 5 協議会機関誌『社会人基礎力研究』制作中です

事務局

社会人基礎力に関する研究活動を広く世に問うことを目的として年1回発行している機関誌『社会人基礎力研究』は、2020年10月1日をもって今年度の寄稿を締め切りました。皆様から寄せられた研究論文、研究ノート、事例報告、評論などの原稿は投稿規定に基づき審査を行います。発行時期が決定しましたら、協議会HPにてご案内いたします。皆様お楽しみに！

## 6 一般会員を随時募集中です

事務局

一般社団法人社会人基礎力協議会では、当法人の目的に賛同し、「人生100年時代の社会人基礎力」育成の調査・研究・普及活動に積極的に参加して下さる個人、企業、大学などの教育機関、その他団体の入会を随時募集しています。ご興味のある方は、協議会HPに会員規則とともに入会案内を掲載していますので、ぜひご覧ください。入会申込も右記Webから受け付けています。一般会員会費は、企業5万円、教育機関・その他団体3万円、個人1万円です。なお、学生会員は無料となっています。活動に関するお問合せは、協議会HPの「お問合せ」フォームより受け付けております。お気軽にどうぞ！



## 7 協賛・ご寄付のお願い

事務局

一般社団法人社会人基礎力協議会の活動は、皆様からの協賛金やご寄付に支えられています。皆様のご寄付は事業運営資金に、協賛金は当法人が運営する各種イベント（社会人基礎力育成グランプリ予選会及び全国大会など）に活用させていただきます。皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。  
協賛・ご寄付いただいた企業・団体は、当法人のトップページに企業名・団体名を掲載し（年度切り替え）、当法人主催の研究会・催事にもご参加いただけます。また、協賛企業・団体には、「人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ」の観覧席をご用意いたします。  
協賛は法人1口5万円、ご寄付は一般1口3千円、法人1口5万円です（いずれも金額はご相談ください）。



### 編集後記



2020年度はコロナ禍のなか、オンラインを活用してリカレント委員会のフォーラム活動、研究委員会の勉強会活動などがむしろ活発になっています。最大のイベントである社会人基礎力育成グランプリも、コロナ禍に負けない運営方法を検討し、2021年2～3月の地区予選や全国大会に向けて準備中です。各種イベントへの皆様のご参加をお待ちしております。  
このNewsでは今年度も大学や企業における社会人基礎力強化に役立つ情報を取り上げていく予定です。会員の皆様からの事例情報を随時募集しております。記事へのご意見、取り上げて欲しいテーマのご要望などもお待ちしております。右記の協議会HP「お問合せ」フォーム、または、下記事務局メールへお気軽にご連絡ください。よろしくお願い申し上げます。  
（担当：研究委員会副委員長 人材開発コンサルタント 山崎 紅）